

# 委員会活動

総務  
企画  
委員会

## つくば国際戦略総合特区の取り組みなどを調査 (5/14)

本委員会（飯岡英之委員長）の今年の閉会中の重点テーマは「地域の特性や資源を活かした活力ある地域づくり」です。県全体の発展という目的のため、県内6地域（県北臨海、県北山間、県央、鹿行、県南、県西）ごとに各地域の活性化や発展につながる資源及びそれらを最大限に活かす方策について検討しています。

独立行政法人 産業技術総合研究所ナノデバイスセンター  
(つくば市)

つくば国際戦略総合特区の「TIA-nano 世界的ナノテク拠点の形成」の一部として(独)産業技術総合研究所内に整備された、ナノテクノロジー研究開発の中核となる施設(ナノデバイスセンター)を視察し、今後の研究の方向性などについて質疑を行いました。



ナノテクノロジー研究の方向性などを調査

CYBERDYNE (サイバーダイン) 株式会社 (つくば市)  
生活支援ロボット安全検証センター (つくば市)

医療、介護、福祉など、広く人間生活に役立つ領域での活躍が期待される「ロボットスーツ HAL」の概要について説明を受け、今後の展開などについて質疑を行いました。

また、日本の生活支援ロボットの認証のしくみの中心的拠点である生活支援ロボット安全検証センターを調査しました。



生活支援ロボット安全検証センターの調査

## つくばの竜巻被害、陸上自衛隊施設学校の概要などを調査 (5/8、5/21)

本委員会（荻津和良委員長）の今年の閉会中の重点テーマは「本県防災対策の強化」及び「県内ものづくり産業の振興」です。東日本大震災や福島第一原発事故などを受け、防災対策の見直しが急務であることから、大規模複合災害を含めたあらゆる災害に即応する防災対策を検討していきます。また、県内中小企業の競争力強化を図る必要があることから、新製品・新技術開発支援や、成長分野への進出支援などを検討しています。

防災環境  
商工  
委員会

竜巻被害調査 (つくば市)

5月6日に発生した竜巻による被災状況などの概要について、つくば市役所の災害対策本部から説明を受けた後、竜巻の被災地区(つくば市北条)の雇用促進住宅や商店街などの状況について現地調査を行いました。(5/8)



竜巻被災地区(つくば市北条)の調査

陸上自衛隊施設学校 (ひたちなか市)  
水戸精工株式会社 (ひたちなか市)

陸上自衛隊勝田駐屯地及び部隊の概要や施設学校の役割などについて説明を受けた後、災害発生時の連絡から派遣までのデモンストラレーションや人命救助セットなどの装備品を視察しました。

また、東日本大震災で被災した工場を県の中小企業グループ補助金を活用し、建て直しを行った水戸精工株式会社を視察し、新しいものづくりの形態、品質改善・環境への取り組みなどについて調査を行いました。(5/21)



陸上自衛隊施設学校の調査

保健  
福祉  
委員会

## 福島県における放射性物質の健康影響調査などを調査 (5/16)

本委員会（福地源一郎委員長）の今年の閉会中の重点テーマは「安心して医療を受けられる体制づくり」です。医療資源の地域偏在の解消や、限られた医療資源を有効に活用した連携方策などについて検討を進めるとともに、原発事故により放出された放射性物質の健康への影響などに関する諸課題についての審査・調査も実施しています。

福島県庁

福島県では、昨年3月の東日本大震災に関連して発生した福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の健康への影響について、全県民を対象とした健康管理調査や18歳までの全県民を対象とした甲状腺検査などを実施しています。福島県庁で、これらの状況について説明を受けるとともに、質疑を行いました。



福島県での放射性物質健康管理調査の状況などを調査

福島市立福島第三小学校

福島市では、本年2月に移動式ホールボディカウンタを購入し、全市民を対象に優先順位をつけて検査を実施しています。市内の小学校において移動式ホールボディカウンタを視察するとともに、検査の状況などについて説明を受けました。



移動式ホールボディカウンタ検査状況の調査